



誕生おめでとう

7/23・小苗代
保護者 久幸・真紀子



木戸場 葵ちゃん

8/5・上外川
保護者 昭弘・八千代



外山 秋翔くん

8/14・市部内
保護者 裕也・円



見澤 陽翔くん

8/19・田子
保護者 敏之・幸紀



向川 原煌くん



末永くお幸せに

〔世帯主〕

(下川 裕大 寺田 齊)
(清水 弥生 北上市 正美)
(久保 良太 久慈市 良太)
(延足美和子 栗山 常雄)



やすらかに

〔世帯主〕

三好 達雄 (52)	浦子内) 達雄
近藤 榮 (83)	新町) 勲平
大川原シマ (72)	小苗代) 一樹
遠藤 コイ (82)	新町) 裕一
江田 熊吉 (77)	元木) 昭介
岩泉 惠介 (73)	寺田) 惠太郎
澤口 カヨ (87)	田屋) 市太郎
杉本 幸代 (21)	上田野) 幸男

～以上 8月届け出分・敬称略～

※広報に載せてほしくない方は届け出のときに係にお話してください。

葛巻町合併50周年 回顧録



躍進し続ける「くすまきワイン」



昭和53年頃の炭焼き風景



山ブドウの作柄確認作業(平成16年町内収穫面積12.19ha)

総面積の約八六%を森林で占める葛巻町は、かつて岩手県有数の木炭産地でした。昭和三十年代後半から、石油やガスの普及により木炭の需要は全国的に減り続け、炭焼きで生活する人が激減しました。最近になって炭が見直され、土壌改良や床下調湿など新たな分野での需要も高まってきています。現在、県木炭協会葛巻支部の会員は六事業所(他町村の会員除く)です。町は、山ブドウや山菜など豊富な天然資源で地場産業をおこし、町民所得の向上と就労促進のため、昭和六十一年年度から3カ年度で葛巻高原食品センターを整備しました。昭和六十一年、第三セクター・葛巻高原食品加工(株)を設立し、ワインの醸造免許を取得。昭和六十三年、待望の山ぶどうワインが発売されました。山ブドウ栽培にも力を注ぎ、平成十年度には総売上三億円を達成。国内ワインコンクールで入賞するなど高い評価を得るまでになりました。森林整備や労働力の確保、地場産材の流通など課題が多い中、環境面からペレット燃料、木質バイオマスの利用など林業振興に新たな期待が寄せられています。

町の人口

17.9.1現在 (前月比)

男	4,155人	(-)	3)
女	4,360人	(+)	5)
計	8,515人	(+)	2)
世帯数	2,926戸	(+)	3)

(住民基本台帳)

◎懐かしい顔ぶれに再会できた秋祭り。「お盆に帰れなくても、お祭りには絶対かだりたい」という帰郷組の若者たち。古里の良さを感ずるお祭りは、やみつきになるようです。

(落合)

◎いよいよ本番を迎えた国勢調査。調査票は届きましたか?皆さんのご理解があつてこそこの調査です。調査票記入(黒鉛筆)で書いてくださいねの際は、ご協力をお願いします。

(星野)

広報室から

